



# 花高通信

校長版

8月号

岩手県立花泉高等学校

岩手県一関市花泉町花泉字林の沢17-9

TEL 0191-82-3363 FAX 0191-82-5448

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>

## 充実の夏! ~学校見学・職場体験・夏季課外~

7月22日（木）に始まったちょうど4週間の夏休みも終わり、8月19日（木）に始業式が行われました。夏休みの前半は東京オリンピックの各国選手の健闘で盛り上がりましたが、後半は新型コロナウイルスが全国的に感染拡大を続け、岩手県も独自の「緊急事態宣言」が出される厳しい状況になりました。

そのような中でも花高生は感染防止対策をとりながら、進路学習や部活動に励みました。

1年生は7月26日（月）に「上級学校見学」を実施し、岩手県立大学と岩手大学を見学して

きたほか、27日（火）には夏季課外、29日（木）には小論文模試にも取り組みました。2年生は一関市内の19の事業所にご協力をいただき、「職場体験学習」を7月26日（月）と27日（火）の2日間行いました。28日（水）は台風8号の接近により急遽中止となりましたが、職業観の確立に向けて有意義な体験ができました。3年生は7月26日（月）から8月12日（木）まで「大学・短大・医療系進学課外」、「就職課外」、「専門学校進学学習会」を行い、それぞれの進路目標達成に向けて学習に励みました。ここでは2年生の「職場体験学習」と1年生の「上級学校見学」の様子を写真で紹介します。



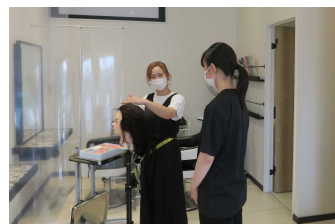
### 2年職場体験学習



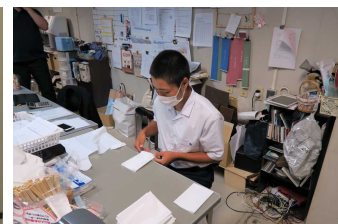
カンブン花泉店



日本端子花泉工場



EARTH一関店



ベリーノホテル一関



一関市役所



ペットワールドアミーゴ



ヨコウン一関営業所



特別養護老人ホーム寿松苑



マイヤ花泉店



一関市立図書館

### 「職場体験学習」でご協力いただいた事業所（順不同・敬称略）

日本端子（株）花泉工場、ベリーノホテル一関、（株）マリアージュ、介護老人保健施設華松苑、特別養護老人ホーム寿松苑、マイヤ花泉店、丸江スーパー花泉店・エコー店、（株）カンブン花泉店、ユニクロ一関店、ペットワールドアミーゴ一関店、岩手トヨペット（株）一関支店、ヨコウン（株）一関営業所、一関市立図書館、一関市役所、EARTH一関店、認定こども園花泉こども園、誠信堂医院小児科、（医）博愛会一関病院



1年上級学校見学（岩手大学）



1年上級学校見学（岩手県立大学）



1年上級学校見学（岩手県立大学）

◎ご協力いただいた事業所・大学の関係者のみなさん、ありがとうございました！

# 2年ぶりの中学生1日体験入学実施！

7月30日（金）に「中学生1日体験入学」が行われました。昨年度は新型コロナの感染拡大防止の観点から中止としましたが、今年は2部制で行うなど感染対策をとりながら2年ぶりの開催となりました。当日は約50名の中学生、保護者、引率の先生が参加し、生徒会執行部による学校紹介やQ&Aセッション、体験授業、部活動見学を行いました。短時間の体験入学でしたが、花高のアットホームな雰囲気が伝わったでしょうか。中学生の皆さんの進路選択の参考になれば嬉しいです。



← 生徒会役員選挙 立会演説会

## 新役員決定！令和3年度生徒会役員選挙

7月16日（金）に令和3年度の生徒会役員選挙が行われました。第1体育館での立会演説会のあと、それぞれ教室で投票用紙を記入し、当日の開票作業の結果、会長の阿部梓さんをはじめ、13名の役員が信任されました。



21日（水）の終業式では認証式も行われ、新しい生徒会執行部がスタートしました。新執行部を中心に生徒会活動の盛り上がりを期待します！

## 花が見守る登下校 PTA環境整備事業

7月17日（土）、「PTA環境整備事業」が行われました。午前6時開始という早い時間にもかかわらず、30名の保護者の方にご参加いただき、草刈り機による校地内の草刈りやプランターへの花苗の植え付けをしていただきました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



## 校訓「知行合一」入門

### 第2回 「私欲」と「良知」

花高の校訓「知行合一」は陽明学の最も有名な思想の一つで、知ることと行うことはもともと一つのもので、本当の知識を身につけると必ずそれが行動に現れる、という意味です。

そして王陽明は「知」と「行」を二つに分けて、スタートとゴールのようにとらえるのは誤りだといい、「行」は「知」が実現したもので一つのことの両面であり、「できる」ということは、「知っている」ということを内に含んでいる、と説明しています。一般に「知」と「行」が分かれてしまうことが多いのは、「知」と「行」の間に「私欲」が挟まるからだともいっています。これは決して感情を軽視しているのではなく、「私欲」で心が曇っていない状態—広い視野を持ち、正しい知識に基づいて判断できる心の状態—を「良知」といって、心が自然にそのような状態になることが理想だとしています。つまり、感情と考えることのバランスが取れている状態が「良知」だということです。

この「良知」を身につけることができれば自然に正しい行動ができるというのですが、たやすく到達できる境地ではありませんね。

